

| | | | | |
|---|-----------|--------------------|--|---------------|
|  | 号外 | 定価 1部2円 | 充分な人員配置と働きやすい職場環境を求め、春闘勝利に向け組合員全員の結集を！ | |
| | 昭和34年4月1日 | 発行所 盛岡市内丸10番1号 | | No.2692 |
| | 第3種郵便物認可 | 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 | | 2024年 3月4日 |

2024春闘①

賃金改善
人員確保

春闘方針を確立

3.2臨時大会

＝働きやすい職場環境整備と人員確保が重点＝

3月7日要求書提出・人事課長交渉へ

県職労は、3月2日に臨時大会を開催し、2024 春闘方針を確立した。

2024 春闘の柱は、全組合員が実感できる賃金水準改善、会計年度任用職員を含めた人員確保・長時間労働の解消をはじめとした継続課題の改善。3月7日の要求書提出・交渉で2024 春闘をスタートさせる。

昨秋の確定闘争では、月例給・一時金ともに2年連続の引き上げとなるも、物価高騰には追いついておらず、実質賃金はマイナスが続き、生活実態は改善されず、職員のモチベーションの低下も著しい。

また、職場では恒常的な人員不足の中、長期療養者を抱えるなど、一層業務量は増加し、現場では長時間労働が恒常化。多忙化に拍車をかけている。交渉では人員確保など当局姿勢を質し具体的対策を求めていく。

～2024 春闘要求重点項目～

- 1 東北最下位となっている初任給格付けを改善すること。
- 2 昇給・昇格要件の改善を図ること。
- 3 55歳昇給抑制を撤廃すること。
- 4 中途採用者の格付けにあたり、前歴換算を改善すること。
- 5 専門職の人材確保に向け、処遇を改善すること。
- 6 自己負担解消に向け通勤手当、住居手当、単身赴任手当を改善すること。
- 7 暫定再任用職員の級の格付け、一時金の支給月数、支給対象となる手当の拡充など、賃金・手当を改善すること。
- 8 会計年度任用職員の再度任用の上限を撤廃すること。
- 9 子等の看護休暇の日数を拡充すること。
- 10 職場の人員増を図り、業務量に見合った人員配置とすること。
- 11 公舎の住環境を充実させること。

重点項目のほか、人事異動の課題や執務環境の改善の課題など全 157 項目!!

組合員の切実な要望を「2024 春闘統一要求書」として確認。1年の闘争スタートとなる春闘期から要求を掲げ、職員が実感できる改善策を求め2024 春闘に全力で取り組む。

3月7日・24春闘交渉ポイント！

- 【①賃金課題】 2年連続の賃上げも物価高騰には追いついておらず、実質マイナス賃金が続く。職員が安心して対応できる賃金・労働条件確保は必要不可欠。全職員のモチベーション維持のためにも、職員のがんばりに報いる賃金改善を求めていく。
- 【②人員確保】 職場実態を踏まえた人員配置（定数増）を求めていく。長時間労働の実態は解消されず、長期療養者数は高止まりしているなど、職員は疲弊しきっている。県民サービスの低下につながることから、専門職確保等も含めた来年度の人員配置、欠員解消を求める。
- 【③超勤・休暇】 超勤予算配分の措置と次年度の超勤予算の状況などを確認。また、新型コロナの位置づけの5類移行により、子等の看護休暇の日数増を求める声が増。子の人数に見合った休暇日数とするよう、拡充を求める。
- 【④勤務間インターバル】 制度導入の趣旨を踏まえ、制度内容、試行開始時期等について質し、隠れ超勤やサービス残業につながらないよう勤務時間管理を徹底すること、長時間労働の是正に向けて職場の人員を増やすことなど、対応を求める。
- 【⑤会計年度任用職員課題】 職場状況よりも財政事情を優先した会計年度任用職員の人員減はもつてのほか。各所属の業務実態を踏まえた任用数の増に加え、雇用不安解消に向け、再度任用の可能性を早期に示すよう求める。また、来年度から勤勉手当が支給されることを踏まえ、評価制度の運用について確認し、不公平感が生じない運用を求める。併せて、在職期間の通算要件の改善を求める。

当局を厳しく追及！人事異動内示日 未だ示されず 今週末発表か？

県職労は、12月8日に要求書を提出し、3月1日内示（遅くとも発令日まで3週間の確保）を求めてきたが、現時点で内示日は公表されておらず、例年、内示日の1週間前には公表されていることを考えると、要求どおりに内示が出されない公算が強まった。

3月7日の交渉では、当局を厳しく追及し、来年度の3月上旬での内示を強く求め、内示時期の改善について見解を質す。併せて、早期着任の強要が生じないよう十分な赴任期間の確保を求めていく。

北上市議選 平野あきのり 自治労県本部組織内（北上市職労出身）

県職労は、3月17日告示・24日投開票の北上市議会議員選挙において、「平野あきのり」（56歳・立憲民主党公認・現2期）を推薦決定し、同氏の必勝に向けて組合員等への支持浸透に全力を挙げる。

平野さんは、「安心の子育て子どもの夢を応援」、「誰もが健康笑顔あふれるきたかみ」、「働く人、地場産業をもっと元気に」を主な政策に掲げ、市民が主役となる真の地方自治の確立をめざす。

